

令和8年度 教 育 計 画						学校番号 44	
松山市立窪田小学校							
校長名	相原 順治	学級数	15 (3)	児童数	330	教職員数	23

教 育 目 標

人間性豊かなたくましい窪田っ子の育成

共に学ぶ子

〈 確かな学力 〉

◎自ら考え解決し、仲間と
共に高め合う子



誠実で優しい子

〈 豊かな心 〉

◎誠実で感謝の言葉を素
直に伝えられる子



元気で頑張る子

〈 健やかな体 〉

◎よい習慣を身に付け、
体と心を鍛える子



共に学ぶ教職員

〈 授業力 〉

誠実に寄り添う教職員

〈 共感力 〉

一緒に頑張る教職員

〈 行動力 〉

学 校

「ありがとう」があふれる学校を目指します。

協力
信頼

ふるさと窪田を愛し、地域の
人・自然・文化と共に

協力
信頼

家 庭

- ◎早寝・早起き・朝ご飯
- ◎自学自習の習慣化
- ◎安らぎと家族愛

安らぎとよい習慣づくりの場

地 域

- ◎黄色帽子で見守り活動
- ◎世代をつなぐ地域行事と郷土愛
- ◎コミスク推進で連携強化

学びを広げる体験・交流の場

窪田の大地を吹き渡る

風

のように

あたたかく

じゆうで

しなやかに

重点目標	1 誠実で優しい子・・・誠実で感謝の言葉を素直に伝えられる子供の育成 ○ よりよい人間関係をつくる特別活動と自他のよさを引き出す道徳教育の充実 ○ 特別支援教育を核とした一人一人に寄り添う人権・同和教育等の推進 ○ 共感的理解に基づく生徒指導といじめを許さない温かな学校風土づくり ○ 人との関わりを通して、感謝することの大切さに気付く子供の育成 2 共に学ぶ子・・・自ら考え解決し、仲間と共に高め合う子供の育成 ○ 自ら考え課題を解決する力と仲間と共に高め合う力のレベルアップ ○ 子供も教師も「自立した学習者」となるための授業改善 ○ 自分で考え個別に学びを進める学習の習慣化と読書活動の充実 ○ ICTとアナログとのベストミックスによる効果的な利活用 3 元気で頑張る子・・・よい習慣を身に付け、体と心を鍛える子供の育成 ○ 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の形成 ○ 外遊び、体力づくりの更なる励行と主体的で自律的な心と体の健康づくり ○ キャリア形成や社会参画につながる主体性のある縦割り班活動と体験活動の充実 ○ 失敗を糧にできるしなやかさと自分で決めて挑戦する主体性を持った子供の育成
管理運営	1 人的管理 ○ 地域人材活用、教育課程編成の工夫、授業改善等による子供のための働き方改革の推進 ○ 報告・連絡・相談・共通理解の徹底と協働体制の推進と服務規律の遵守 ○ 児童の主体性と教職員個々の持ち味を生かした共に高め合う組織づくり 2 物的管理 ○ 児童と共につくる居心地のよい教育環境と施設・備品の有効活用 ○ いかなる状況にも迅速に対応できる危機管理体制の確立 ○ 施設・設備の確実な点検と危険箇所への即時対応、防災・防犯体制の整備 3 事務管理 ○ 校務分掌の明確化と迅速で正確な処理 ○ 会計・経理事務の厳正化と適正な運用 ○ 情報管理体制の確立と個人情報の確実な保護
本校教育の特色	本校は、豊かな自然・文化と地域愛あふれる人々に大切に育まれ、開校33年目を迎える。開校記念碑「風」の碑文には、「窪田小児童が、春風のような優しい心を持ち、逆風にも立ち向かうたくましい意志力と体力を育み、一人一人が豊かな風（個性）を大空に力強く吹き上げていくという願いが込められている」とある。この精神を受け継ぎ、春風のように人間性豊かで、逆風にも負けず、しなやかに対応できるたくましい児童の育成を目指している。 昨年度まで、特別支援教育の視点を学校経営の中核に据え、家庭や地域の協力を得ながら、児童一人一人の現在と将来の笑顔を保障する心温かな教育活動を全力で推進してきた。人は、支えたり支えられたりしながら生活している。今年度は、そのような人と人とのつながりに欠かせない「ありがとう」に焦点をあて、感謝の言葉を素直に伝えることができる子供の育成に努めていく。 地域住民の学校に対する愛情は「見守り活動」や「学校行事」への積極的な参加にあらわれている。今年度から文部科学省型のコミュニティ・スクール制度がスタートする。この制度を機能させ、更に家庭や地域から愛され信頼され、全ての窪田っ子が「学校大好き」と思える学校づくりを行っていく。